

平成27年度の重点課題

○「反復横跳び」では、県平均値、全国平均値に比べ、9回の差がある学年がある。  
 ○「20mシャトルラン」では、県平均値、全国平均値に比べ、6回の差がある学年がある。  
 ○「立ち幅跳び」では、県平均値、全国平均値に比べ、18cmの差がある学年がある。  
 ○「ソフトボール投げ」では、県平均値、全国平均値に比べ、10mの差がある学年がある。

上記の課題を受けて具体的に  
取り組んだ事項

○「反復横跳び」→休憩時間に鬼ごっこやゴムとびなどの遊びを取り入れて遊ぶように指導し敏捷性を養った。  
 ○「20mシャトルラン」→毎日、休憩時間に運動場を5周以上走る。  
 ○「立ち幅跳び」→体育の授業のサーキットトレーニングの中に、馬跳びやタイヤ跳びを設定する。  
 ○「ソフトボール投げ」→ストラックアウトボードを活用して、休憩時間等に的当てボール投げゲームに取り組ませる。また、新聞紙を丸めた長棒を投げさせて、腕の振り方やフォームをつくる。

平成28年度新体カテストの結果(県平均値(平成27年度)・全国平均値(平成26年度)との比較)

小規模少人数のため、データの公開は控えさせていただきます。

平成28年度新体カテストの結果(県平均値(平成28年度)・全国平均値(平成27年度)との比較)

小規模少人数のため、データの公開は控えさせていただきます。

重点課題

・「ソフトボール投げ」は、県平均、全国平均と比べて記録が低い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

○「ソフトボール投げ」→ストラックアウトボードを活用して、休憩時間等に的当てボール投げゲームに取り組ませる。また、長棒を投げさせて、腕の振り方やフォームをつくる。さらに、ボールを使ったゲームを体育授業に積極的に取り入れる。

平成29年度の目標値

○「ソフトボール投げ」を県平均に近づける。